



# YMCA 大阪青年

## 6

2021年6月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行/小川 健一郎  
編集/大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



## 人々の「リアル体験への飢え」に応じる「進化の証」を...

「コロナ」という世界共通の課題を突きつけられ、私たちの日常は一変し、人とふれあうことや外出することなど、これまで当たり前であった行為やそこからもたらされる価値が奪われてしまいました。「オンライン飲み会」のような「非リアル」な交流ですら新鮮さを感じていたのは、「リアルに会えない」からこそ生み出される希少価値のようなものだったのでしょう。オンライン授業やテレワークなど、いまや「非日常」であったことが常態化し、逆にこれまでのリアル体験が非日常化してしまうような様相を呈しています。

内閣府が「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」と掲げたSociety5.0が今次のコロナ禍によって急速に進展し、今後、VR(仮想現実)とAR(拡張現実)、さらには、AI(人工知能)など、様々なテクノロジーが私たちの生活をより彩るようになることは間違いありません。すでに私たちの生活におけるキーデバイスは、「ス

マートフォン」や「SNS」であり、ここから目を背けることは不可能です。かつて、ショッピングや食事、また旅行といった体験活動の魅力は、「百聞は一見にしかず」的な発想で具象化されず、再購買や再来訪を喚起するには、利用者の過去の経験に頼らざるを得ませんでした。いまや「選ばれる」「わざわざ店舗に足を運んでもらう」ため、企業はキーデバイスとの融合を図り、購買中のみならず、購買前後に至るまでの感動体験をプロデュースすることに余念がありません。

YMCAは、このような状況をどのように受け止めているのでしょうか。動画を視聴する自宅でのフィットネスやオンラインの運動教室、人々のライフスタイルやキーデバイスとの融合を図ったグランピングなど、差別化やすみ分けは踏まえるとしても、YMCAが提供する自然体験やウエルネス活動における「CX: Customer experience(顧客体験:顧客が感じた商品やサービスにまつわる全ての体験や認識のこと)」を無視することはできません。同じ時空をともにすることの喜び、思いがけ

ない出来事や人との出逢いなど、そこでしか得られないリアルな体験とともに、活動のことに思いをめぐらせたり、活動の余韻に浸ったりするような体験前後における人々の知覚や感覚にどのように訴求し、顧客体験における「リアル」をどのように演出するのが、より一層、問われるようになります。

多くの非営利組織が抱える「経路依存性(過去の選択や決定、従来の仕組みや習慣にとらわれること)」を打ち破り、YMCAだからこそ、YMCAにしか表現できない「体験価値」の可視化と体系化を図ることによって、人々の「リアル体験への飢え」に応じる「進化の証」を示してほしいと思います。



立命館大学  
スポーツ健康科学部  
教授  
ながづみ じん  
**長積 仁**

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# ユース事業 ウェルネス

## 保護者インタビュー

### YMCAプログラムへの期待

広域開発事業 **いのち たけし 猪口 武志**

YMCAウェルネスメンバーの保護者に、YMCAの役割や期待されていることについて、お話を伺いました。

#### Q. YMCAには、どのような役割があると考えられていますか。

YMCAは、日常生活では保護者自身も思いつかないような体験を子どもたちにさせてくれています。スポーツでも野外活動でも、様々な体験や人との関わりを通して子どもたちは成長し、できることが増えていくだけでなく、ひとりではできないことを体験させてくれていると実感しています。

また、YMCAの指導者の力もすごく大きく感じています。リーダーが子どもの名前をよく覚えているだけでなく、子どもたちからもリーダーの名前をよく聞きます。そんなYMCAが、子どもにとって心から楽しんで過ごせる居場所になっています。また親にとっては、親身になって一緒

に子どもの成長を考えて行動してくれるパートナーという存在と感じています。

#### Q. 今後、YMCAにどのようなことを期待されていますか。

コロナ禍の状況で、感染症対策を整えて日々の活動を運営してくれているYMCAは、生活の一部となっています。これからも、実際に見て、



感じて、やってみてというリアルな体験を、子どもたちへ実施し続けてくれることを期待しています。

## コロナ禍の取り組み

### 今だから、できること ～「こころとからだを元気にするプロジェクト」に参加して～

広域開発事業 **なかお ひかり 中尾 ひかり**

今、リアルな体験がますます減っています。旧友との再会を喜ぶこと。ケンカして落ち込むこと。誰かの意見にハッとさせられること。こうした人と関わる中で得られる「小さな感動」は、人を元気にするエネルギーになります。

私は昨年、「こころとからだを元気にするプロジェクト」に参加しました。オンラインで全国からYMCAのリーダーが集まり、コロナ禍で自分たちにできることを考えました。ミーティングを重ねる中で、「同じ課題に向かって頑張る仲間がいる」、「私は一人じゃない」、そう気づくと、沈みがちだった自分の気持ちが元になりました。

人と会えない状況でも、人とつながる機会がきっと必要です。コロ

ナ禍で下を向くのではなく、今だからこそできることに目を向けることが大切ではないでしょうか。リアルな体験の中には多くの育みがあります。活動を通して出会う人が「小さな感動」に気づける、私はそんな機会をこれからもYMCAのスタッフとして提供します。



### つながりの大切さ ～高齢者のオンラインの取り組みを通じて～

拠点開発事業 **なみき さとこ 並木 聡子**

新型コロナウイルスの蔓延により、高齢者の運動時間が約3割減少したという報告が国立長寿医療研究センターよりありました。高齢者



にとって、日常的な活動量が減ると心身機能の衰えが要介護状態へ直結する恐れがあることから、運動不足には大きな健康リスクが潜んでいるといえます。

大阪YMCAでは、高齢者の方たちとオンラインを通じて体操を行っています。動画を流すだけでなく、活動中の相互の言葉のやり取りが重要であると考え、リアルタイムで直接対話をしながら取り組んでいます。コミュニケーションは、「心のリフレッシュ」です。一方通行の体操動画配信ではなく、「痛いところはないですか。」「今日はニックネームでお呼びしますね。」と会話をしながら行うことで、「見られている」という刺激が入ります。

感染を防止しながら、安全に取り組めるオンライン体操。体操の時間より、おしゃべりしている方が楽しそうな参加者もおられます。早くリアルに会って体操もおしゃべりもしたいものです。

# 新しく社会に広がるYMCA

## — 開設情報 —

### YMCAたまたがわケアプランセンター開設

YMCAたまたがわケアプランセンター 所長 **いとう てつや 伊藤 鉄矢**

社会福祉法人大阪YMCAサンホームは、東大阪市御厨地域で24年間、地域の皆さまと歩んできました。その実績を生かし、2021年4月、東大阪市岩田町に「YMCAたまたがわケアプランセンター」を開設しました。場所は、サンホームのある八戸ノ里に隣接している地域です。

隣接しているとはいえ、幹線道路に分断されておりYMCAとは関わりの薄い地域のため、サンホームのこともご存知ない方がほとんどです。まずは、地域の方々とつながる機会が持てるように、関係機関等と顔の見える関係作りを積極的に進めます。

また、ケアマネジャーとして、「利用者様やご家族の気持ちに寄り添い、耳を傾けること」を大切にしています。人と人とのつながりを大切に、関わる方々とともに歩み、一人でも多くの方が「よくなっていける」よ

うに、大阪YMCAの各事業が持つ強みを生かしながら支援に取り組んでまいります。



利用者様のマスクは、撮影のために外していただいています。

### 教育支援室「ほっとすてっぷSOUTH」運営開始

ほっとすてっぷSOUTH 所長 **むかいたに あきら 向谷 章**

2021年4月より尼崎市教育委員会から業務委託を受け、尼崎市大島にて「ほっとすてっぷSOUTH」をオープンしました。この事業は、尼崎市市内の不登校の小中学生を対象に学習支援と社会的自立を目的としたものです。尼崎市は以前より「ほっとすてっぷWEST」、「ほっとすてっぷEAST」の2拠点を運営していました。3拠点目を開設するに当たり、大阪YMCAが大阪市内において同様の支援事業2拠点を展開していることや、表現・コミュニケーション学科でJ-IVYという不登校の中学生を対象にした事業実績、大阪YMCAのこれまでの教育に関する幅広い考え方、運営方法、各専門分野との連携などが評価され、尼崎市における将来的な教育事業の展開の試みとして大阪YMCAに託されました。「ほっとすてっぷSOUTH」は、社会課題に対してつながっていく入り口として、今後を期待されています。



### 「さかいっこひろば」運営開始

公益協働事業 **すが ひであき 菅 秀晃**

2021年4月より堺市から業務委託を受け、南海高野線堺東駅にて「さかいっこひろば」をオープンしました。施設の目的は、子どもとその保護者の集い・憩い・交流・学びの場や機会を提供し、子育てへの不安や負担を軽減することです。

施設は、「つどいの場」「あそびの場」の2カ所に分かれており、子どもたちがそれぞれの部屋での過ごし方を楽しんでいます。「つどいの場」では、1,000冊の絵本と外国製のおもちゃが子どもたちに大人気です。「あそびの場」では、大型遊具で元気に身体を動かす姿が連日見られます。また、YMCAのスタッフが保護者に声をかけることで、子育て相談などもしやすいよう、多くの保護者から子育ての不安が解消したと喜ばれています。

YMCA活動は、当事者にどのように歩みより、人に仕える働きができるかが大切だと考えています。子どもたちの成長を見守り、堺地域の子

育て力向上と、地域で安心して子育てができる環境基盤につながることをめざし、子育てを応援してまいります。





## 安全、安心、美味しい介護食へ

どもと たかこ  
 YMCAサンホーム **堂本 隆子**  
 〈専門調理師、介護食アドバイザー〉

介護食とは、噛んだり飲み込んだりすることが困難(摂食・嚥下困難)になった人が、安全に食べられるように形態を変えて調理された食事です。

摂食・嚥下困難になると、必要なエネルギーや栄養が摂れず、低栄養となることで身体機能が低下し、感染症や介護が必要な状態に陥りやすくなります。特に、家庭で療養中の高齢者の約7割が栄養状態



に問題があるといわれています。

超高齢社会となり、介護食は1998年に一般消費者向けに発売されてから、市場は拡大し続け、昨今、開発が急ピッチで進められています。

YMCAサンホームでは、2010年頃から介護食の質の向上に取り組んでいます。安全、栄養だけでなく、見た目や味も重視し、残さ

ず食べてもらうことで低栄養状態になることを防止しています。現在では7種類の食事の形態があり、さらに、おひとりおひとりの身体の状態に合わせて、栄養やエネルギーを調整しています。

これからも改良を重ね、高齢になっても健康で安心して楽しめる介護食の発展に努めてまいります。

### 食形態の一例 (魚料理)



常食



一口



刻み



軟食1



軟食2



ムース



ミキサー

## 大阪YMCAポジティブネット募金

～感謝とご報告～



ふる や かつゆき  
 留学生事業 **古谷 佳之**

新型コロナウイルスにより、感染予防をしながら、「私だけではない、いま困っている誰かのための募金」として“ポジティブネット募金”を2021年3月31日までの期間で実施し、多くの皆様にご支援をいただきました。松尾台こども園・しろがねこども園の園児と保護者の皆様、認定NPO法人ふーどばんくOSAKA様、株式会社社長谷エコーポレーション様等からは、留学生支援として多くの食料品をご提供いただきました。

いただきました支援内容は以下の通りです。

募金額：4,404,082円

物 品：4,178,377円(換算)

合 計：8,582,459円

募金の用途につきましては、対象となる事業(高齢者・子ども・留学生)にて、有効に活用させていただきます。ポジティブネット募金の趣旨をご理解いただき、ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。



すでに募金を活用して留学生への食料購入を始めています。

## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第331回 日 時...2021年6月18日(金) 7:30～8:15

証 し...津田 晃男さん ※朝食会はございません。  
 (土佐堀事業 事業長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

### 会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年4月度報告・敬称略

#### 【継続会員】

飯沼 真  
 石原 福造  
 上西 卓  
 遠藤 通寛  
 大野 真由美  
 奥田 時夫  
 加計 純子  
 川岸 清  
 川俣 茂  
 北村 知三  
 高鶴 佐智子  
 小西 和子  
 近藤 末美  
 阪口 千穂

阪本 聡子  
 佐川 隆二  
 桜井 和之  
 清水 汎  
 卜田 昭子  
 卜田 啓三  
 小路 修  
 滝口 敏行  
 谷川 俊一  
 寺川 克  
 中村 隆幸  
 高橋 錦織 一郎  
 西村 博子  
 萩原 義明  
 福島 真一

福島 文子  
 福山 正和  
 藤井 みどり  
 本多 勝弘  
 松田 安紀子

南出 和余  
 森浦 隆之  
 山田 理学  
 山本 雅司  
 和田 早苗

#### 【継続賛助会員】

株式会社朝日新聞社 大阪本社  
 株式会社サンケイビルマネジメント  
 株式会社シェル石油大阪販売所  
 株式会社西島製作所  
 京王観光株式会社  
 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社  
 双葉電気通信株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧いただけます。

